



ブルガディオ

Terahertz

テラヘルツ波 (THz)

テラヘルツ波は光波と電波の中間域に存在する電磁波であり、周波数1兆回／秒、1秒間に1兆回(テラ)の分子振動をしていることからテラヘルツ波(THz)と呼ばれている。

テラヘルツ波は1970年頃NASA(アメリカ航空宇宙局)にてアポロ計画において真空、無重力、極低温な宇宙船内にて生命が存在するために必要な研究を行い、次のように発表しています。

太陽光線の中で人体に最も有効に作用するものは遠赤外線であり、その中でも4～14 μm 波長のものは人体に最も深達力がある。この光線と人体の分子の共鳴作用により発生した熱エネルギー、微細血管の拡張(血液循環)細胞の新陳代謝の促進効果があり、身体の機能向上に貢献する。

テラヘルツ波は育成光線と生命光線を併せ持っています。

人体の基本物質は水とタンパク質です。水とタンパク質の分子運動は体温36.5℃の場合9.6 μm の波長であるとNASAは発表しており人が発している9.6 μm の電磁波は遠赤外線となり、遠赤外線との共鳴作用を起こしやすいと考えられます。

地球上の生命は太陽の光により支えられています。この太陽光の中で地球に届く遠赤外線が3～12 μm 前後であり、この遠赤外線に対応して

人は進化しており、生命活性の基本になっているとのことです。

テラヘルツ波は遠赤外線の周波数帯域をカバーしており、生命光線とも言われます。

テラヘルツ波は遠赤外線と同様に人や動植物更には無機質に関わらずその性質をよい方向へ変化させる働きがあります。

前述したように微細血管の拡張(血液循環)や細胞の新陳代謝の促進効果があり、身体の機能向上に貢献するとNASAは発表しています。

血液循環や新陳代謝の促進させるので美容や健康にもよい影響があります。

テラヘルツ波は直進性と電波の透過性(紙、木材、布、プラスチック、人等)を併せ持つ波長領域です。

ブルガディオ

ブルガディオはテラヘルツ波を「極電子活性水」とし、塩ビ管又はプラスチック容器に詰め、微振動を発してマイナスイオンやエネルギーを対象物に与え、成長促進、抗酸化、鮮度保持、悪臭除去、水質浄化等に効果を発します。

30年程前より農業分野に電子農法として取り組んでいましたが、他の分野でも活用できないかと試行錯誤2016年に製造のコストダウンが可能となり、令和3年より製造技術の向上によりブルガディオの高エネルギー化となり、農業以外の畜産分野、魚の養殖分野、食品の鮮度保持、悪臭除去、水質浄化、健康分野に活用しています。

テラヘルツ波はNASAの宇宙船内、医学界、電子医療に活用されており、使用に際しての安全性は確認されています。